

公明党 横浜市会ニュース 市政報告

特別号

VOICE よこはま

トコトンやり抜く! 安心生活

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1

市会議員
望月やすひろ

2 子育てしやすいまちづくり

待機児童の解消と小児医療費助成の拡大を実現しました。

保育所整備による定員増と保育情報と保護者のニーズを結ぶ「保育コンシェルジュ」を各区役所に配置するなど、保育所待機児童対策に取り組んできました。

平成25年4月、横浜市は保育所待機児童ゼロを達成しました。また、小児医療費助成は平成24年10月、通院に対する対象年齢を小学1年に拡大しました。



1 食育で健康長寿のまちづくり

「横浜市食育推進計画」に基づいた食育の普及啓発と食育を基盤とした健康づくりを推進してきました。

食を自ら選択する能力を育てるといった食育の視点で、中学校昼食に、栄養バランスのとれた複数のメニューから選択できる横浜型スクールランチを提案しました。

多くの市民が食育の意義を理解し、日常的な食生活の中で、できる

ことから行動に移していくことができるよう様々な食育の取り組みを取り上げて

議会で提案しました。



本会議場で質問



ランチボックスの例

3 安心・安全な災害に強いまちづくり

災害に強いまちづくり

河川・雨水幹線の整備促進とハザードマップの作成を推進しました。

ゲリラ豪雨や台風による大雨からのちや財産を守るため、雨水幹線の整備や浸水（洪水・内水）ハザードマップの作成を推進してきました。

平成26年度中に港北区の内水ハザードマップが完成します。



まちの安全・安心を推進!

地域の皆さまからの要望にお応えし、区内の安全・安心なまちづくりを推進してきました。主な取り組みを紹介します。



⑩新吉田町 ミラー設置



⑫高田町 放置自動車撤去



⑪新羽町 表示板改良



⑮小机町 歩道整備



⑮新吉田東8丁目 遊歩道老朽揭示板撤去



⑯小机町 電柱移設



⑬篠原町 樹林地維持管理



⑭鳥山町 砂田川 遊歩道改修



⑫師岡町 手すり&車止め設置



⑪菊名6丁目 雨水マス設置



⑫日吉本町 ミラー設置



⑫日吉本町 手すり設置



①日吉6丁目 公園時計設置



②日吉6丁目 横断歩道整備



③綱島西3丁目 ミラー設置



⑤樽町2丁目 横断歩道改良



⑦大倉山3丁目 駐輪場整備



④大曾根3丁目 ミラー改良



⑥樽町4丁目 かけ地樹林地維持管理



⑧大倉山2丁目 町内会館



ご意見・ご要望はこちらまで

TEL.045-671-3023 FAX.045-681-2060



望月やすひろ オフィシャルHP Yahoo・Google からは? →

望月やすひろ 検索

QRコードからもホームページへのアクセスや、メルマガ登録が可能です。

- ホームページ→<http://www.mochiyasu.com/>
- フェイスブック→<http://facebook.com/mochi-yasu/>
- メールマガジン→<http://mail.mochiyasu.com/>

望月やすひろは、3つの政策を進めてきました!

公明党横浜市議団の10の実績

1 緊急輸送路の路面下空洞調査を3年間で実施

大規模な地震等の災害が発生した場合に、救命活動や物資輸送などを円滑に行なうために指定された道路である市内の緊急輸送路380kmと病院や消防署・警察署、地域防災拠点など災害時に大きな役割を果たす拠点をつなぐ道路について、救援・復旧活動等に障害となる道路の空洞化を早急に調査すべきと市長に要望書を提出しました。

その結果、25年度から3年間で空洞調査を実施し、空洞が発見された場合は速やかに補修を行なうことになりました。



2 災害時における飲料水確保対策



災害時の飲料水確保の一つの対策として、消火栓や地域防災拠点となる学校の受水槽の活用を提案し、実現しました。消火栓や受水槽に蛇口を取り付けて飲料水として利用するものです。

3 被災者支援システムの提案と構築

大規模な地震等の災害が発生時には、被災者への「罹災証明書」、被災家屋の所有者への「被災家屋証明書」の発行、義援金の給付や生活支援金の貸付けなど、様々な支援を早急に行なう必要があります。阪神・淡路大震災の彩に西宮市で開発された被災者支援システムを基として横浜市でもシステムの構築の必要性を訴えてきました。

平成26年3月、システムが構築されました。



4 学校施設の耐震補強



市内の市立学校の精密な耐震診断を行なった結果、新たに耐震補強が必要と診断された建物がありました。児童生徒の安全を最優先に、速やかに耐震工事を行なっています。また、市議団の質問により、学校内の小規模施設が耐震診断が行なわれていない建物があることがわかりましたが、これら小規模施設も耐震診断と耐震補強を平成27年度までに完了する予定です。

6 妊婦無料歯科健診の実施



丈夫な赤ちゃんを出産し、産後のお母さんが元気に過ごすためには、口腔の健康が非常に重要であることから、妊婦が身近な歯科医院で無料歯科健診を受けることができるよう要望してきました。

平成24年10月より、妊婦歯科健康診査が実施されています。

8 議員提案条例「横浜市市民協働条例」の制定

平成25年4月、公明党市議団の提案による「横浜市市民協働条例」が施行されました。

市民活動団体や自治会町内会、企業などが行政と平等に協働して、子育て、介護、福祉、まちづくりやイベント等の公共・公益的な事業や活動を行なうことを条例で定めたものです。

また、この条例は、内容が評価され、マニフェスト大賞・優秀成果賞と審査委員会特別賞を受賞しました。



7 児童支援専任教諭の全校配置

いじめや不登校、学級崩壊や暴力行為等を未然に防止し、様々な課題を解決するため、児童指導専門の教諭を配置するよう要望してきました。

モデル事業としてスタートしましたが、いじめ防止や学級支援、幼稚園・保育園や中学校との連携などに対する効果を確認し、平成26年度中に市内の全小中学校に児童支援専任教諭を配置することになりました。



9 民間住宅あんしん入居事業を拡充

入居時には保証人を立てることができたものの、契約更新時に連帯保証人が確保できず、更新ができなくて困っている場合でも賃貸契約を結ぶことができ、さるよう民間住宅あんしん入居事業の拡充を実現しました。



5 橋りよう、歩道橋の地震対策

東日本大震災後、市内の橋りようや歩道橋など緊急時の交通網に影響を与える施設の地震対策に必要な予算を配分するよう要望してきました。

国の防災・減災対策に合わせ、橋りよう、歩道橋の耐震化が行なわれています。



大綱橋

師岡町歩道橋

10 LED防犯灯の設置促進

蛍光灯に比べ消費電力が小さく、寿命も長いLED防犯灯は、まちの防犯対策に大きな効果が期待できます。

横浜市は市内の防犯灯のすべてをLEDに交換する事業を進めてきましたが、全てを交換するまで10年以上かかる見通しとなっていました。

電気料金の負担や交換を自治会・町内会の負担から市が管理することとなるため、市議団は早急に切り替えを完了すべきと要望してきました。

結果、平成26年度中にすべての蛍光灯防犯灯をLED防犯灯に交換する事業を行なうことになりました。

